

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7226 URL <http://www.kyokuto.com/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和也
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経営企画部長 (氏名) 鶴目 和生 (TEL) 0798-66-1500
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	50,275	1.6	4,609	△1.5	4,278	△7.7	3,398	17.7
28年3月期第2四半期	49,488	7.0	4,677	11.9	4,635	11.8	2,887	19.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,145百万円(51.7%) 28年3月期第2四半期 2,073百万円(△41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	85.55	—
28年3月期第2四半期	72.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	120,409	75,072	61.7
28年3月期	120,539	71,729	59.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 74,244百万円 28年3月期 71,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	△1.8	9,200	△12.4	9,000	△7.0	6,200	2.7	156.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	42,737,668株	28年3月期	42,737,668株
29年3月期2Q	3,009,058株	28年3月期	3,008,960株
29年3月期2Q	39,728,675株	28年3月期2Q	39,729,009株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の低迷や新興国経済の下振れリスク等により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループは中期経営計画 2016-18 ～Value up to the Next～（平成28年4月1日～平成31年3月31日）の初年度として、事業の質の向上と確固たる収益基盤の確立を図るべく、諸施策を実行しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は786百万円（1.6%）増加して50,275百万円となりました。損益面では、営業利益は67百万円（1.5%）減少して4,609百万円、経常利益は356百万円（7.7%）減少して4,278百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は511百万円（17.7%）増加して3,398百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

① 特装車事業

国内は、物流関連が牽引役となり需要は引き続き高い水準となりました。当社グループでは物流系のバンボデー、ウイングボデー、テールゲートリフタ、トレーラ、環境系のごみ収集車および脱着ボデー車を重点として製品の受注活動を積極的に行い、併せて生産の効率化、合理化を進めました。

海外は、昨年10月より稼動したタイ工場でオペレーション体制の構築を推進しました。また、新たな需要への対応としてミキサートラックの生産を開始しました。インド工場ではボルボ社より受注した超大型ダンプトラックのOEM生産を行いました。今後、積極的に業績への貢献を図ってまいります。

これらの結果、売上高は1,074百万円（2.5%）増加して43,981百万円となりました。営業利益は330百万円（9.2%）増加して3,928百万円となりました。

② 環境事業

プラント建設では受注済物件の建設工事と併せ新規物件の受注活動を進めたほか、ストックビジネスとしてのメンテナンス・運転受託にも注力しました。

バイオガスプラント事業では、技術提携先のコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドと共同で行っていたプラントの建設工事が最終段階を迎え、竣工に向けた調整を行いました。

また5月には新製品として、木くず・紙・プラスチック・衣類くずなどの廃棄物系バイオマスを省エネルギー、省スペースで圧縮・成形して固形燃料にする「突き押し式成形機」を発売しました。

しかしながら、プラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は366百万円（9.6%）減少して3,459百万円となりました。営業利益は268百万円（41.0%）減少して387百万円となりました。

③ 不動産賃貸等事業

立体駐車装置は厳しい市場環境が続きましたが、リニューアルやメンテナンスなどの受注を進めたほか、コインパーキングは採算性を重視した事業地の選別・確保を図りました。また、名古屋駅南に広がる再開発エリアである「ささしまライブ24」地区に、5階建、約400台の収容が可能な大規模立体駐車場の建設を決定しました。本件は平成29年1月の竣工を目指し、現在建設を進めてお

ります。

その他、インドネシアで受注した立体駐車装置の初号機についても建設準備を進めました。

これらの結果、売上高は73百万円(2.4%)増加して3,158百万円となりました。一方で、営業利益は2百万円(0.3%)減少して612百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は130百万円(0.1%)減少して120,409百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により877百万円(1.3%)減少して66,714百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産の取得等により746百万円(1.4%)増加して53,695百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は未払法人税等の減少等により2,633百万円(7.2%)減少して33,850百万円、固定負債は長期借入金の返済等により839百万円(6.8%)減少して11,486百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により、3,342百万円(4.7%)増加して75,072百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は61.7%(前連結会計年度末59.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では概ね公表値どおりに進捗しているため、平成28年5月11日に公表いたしました業績予想の修正は行いません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,531	5,874
受取手形及び売掛金	39,789	36,730
有価証券	4,081	8,200
商品及び製品	596	820
仕掛品	4,653	4,846
原材料及び貯蔵品	7,323	7,359
前払費用	399	504
繰延税金資産	1,452	1,629
その他	811	798
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	67,591	66,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,147	11,522
機械装置及び運搬具(純額)	4,129	4,244
土地	20,106	20,588
建設仮勘定	481	839
その他(純額)	1,010	1,314
有形固定資産合計	36,875	38,508
無形固定資産		
その他	541	565
無形固定資産合計	541	565
投資その他の資産		
投資有価証券	13,691	13,104
長期前払費用	444	410
繰延税金資産	53	52
その他	3,929	1,783
貸倒引当金	△2,587	△729
投資その他の資産合計	15,531	14,620
固定資産合計	52,948	53,695
資産合計	120,539	120,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,950	21,813
短期借入金	2,960	3,334
1年内返済予定の長期借入金	1,791	1,690
未払法人税等	2,274	803
未払消費税等	870	566
未払費用	3,711	3,806
引当金	1,175	1,032
その他	749	803
流動負債合計	36,483	33,850
固定負債		
長期借入金	4,141	3,346
長期預り保証金	2,745	2,634
退職給付に係る負債	1,154	989
引当金	196	188
繰延税金負債	3,400	3,579
その他	687	747
固定負債合計	12,325	11,486
負債合計	48,809	45,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	46,946	49,627
自己株式	△2,149	△2,149
株主資本合計	68,415	71,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,683	3,538
為替換算調整勘定	△59	△54
退職給付に係る調整累計額	△373	△335
その他の包括利益累計額合計	3,250	3,148
非支配株主持分	64	827
純資産合計	71,729	75,072
負債純資産合計	120,539	120,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	49,488	50,275
売上原価	39,081	39,575
売上総利益	10,407	10,699
販売費及び一般管理費	5,730	6,090
営業利益	4,677	4,609
営業外収益		
受取利息及び配当金	169	196
雑収入	41	23
営業外収益合計	210	219
営業外費用		
支払利息	43	44
持分法による投資損失	139	212
為替差損	21	243
雑支出	48	50
営業外費用合計	252	550
経常利益	4,635	4,278
特別利益		
固定資産売却益	5	3
投資有価証券売却益	—	1
その他	3	—
特別利益合計	9	4
特別損失		
固定資産処分損	18	48
投資有価証券評価損	—	20
創立記念関連費用	129	—
その他	30	10
特別損失合計	178	79
税金等調整前四半期純利益	4,465	4,203
法人税等	1,574	851
四半期純利益	2,891	3,351
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△46
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,887	3,398

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,891	3,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	△144
為替換算調整勘定	△13	△29
退職給付に係る調整額	△17	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△69
その他の包括利益合計	△817	△205
四半期包括利益	2,073	3,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,069	3,299
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,465	4,203
減価償却費	969	1,065
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△187	△110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△413	△1,857
その他の引当金の増減額(△は減少)	△136	△180
受取利息及び受取配当金	△169	△196
支払利息	43	44
その他の営業外損益(△は益)	△2	179
持分法による投資損益(△は益)	139	212
投資有価証券評価損益(△は益)	—	20
有価証券売却損益(△は益)	—	△1
固定資産売却損益(△は益)	△5	△3
固定資産除却損	15	48
売上債権の増減額(△は増加)	3,612	5,052
たな卸資産の増減額(△は増加)	△662	△333
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,619	△884
未払消費税等の増減額(△は減少)	△802	△303
その他	△1,013	△290
小計	4,234	6,665
利息及び配当金の受取額	183	197
利息の支払額	△10	△10
法人税等の支払額	△2,128	△2,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,279	4,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,887	△1,363
固定資産の売却による収入	11	314
投資有価証券の取得による支出	△113	△202
投資有価証券の売却による収入	1	4
子会社株式の取得による支出	—	△252
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	10
長期貸付けによる支出	△2	△163
長期貸付金の回収による収入	6	5
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,983	△1,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,160	62
長期借入金の返済による支出	△1,056	△895
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△26	△31
配当金の支払額	△555	△635
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△159	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,958	△1,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,660	1,383
現金及び現金同等物の期首残高	10,102	12,613
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	77
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,441	14,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,899	3,825	2,763	49,488	—	49,488
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	0	321	330	△330	—
計	42,907	3,826	3,085	49,819	△330	49,488
セグメント利益	3,598	656	615	4,869	△192	4,677

(注) 1 セグメント利益の調整額△192百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,974	3,458	2,841	50,275	—	50,275
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	0	317	325	△325	—
計	43,981	3,459	3,158	50,600	△325	50,275
セグメント利益	3,928	387	612	4,928	△319	4,609

(注) 1 セグメント利益の調整額△319百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△321百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。